

「一つの花」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 ゆみ子のはっきりおぼえた最初の言葉とはなんですか。
本文にかかれていまするものをそのままぬき出して10字で答えましょう。

問2 「そのころは、おまんじゅうだの、キャラメルだの、チョコレートだの、そんな物はどこへ行ってもありませんでした。」
とかかかれていまするが、「そのころ」とはどんなころですか。
本文にかかれていまするものをそのままぬき出して13字で答えましょう。

問3 「そのころ」、町はどのようなようすでしたか。本文にかかれていますることはを使って、2つ答えましょう。



問7 「お母さんのこの口ぐせを覚えてしまったのです。」と書かれています。 「この口ぐせ」とはどんな言葉ですか。本文に書かれているものをそのままぬき出して6字で答えましょう。

問8 「一つだけー。」ということばがお母さんの口ぐせになってしまったことから、どんなことがわかりますか。もっともただししいものを次の中からえらび○でかこみましょう。

ア：ゆみ子のわがママがなおらなかつたこと

イ：戦争のせいで食べ物がたりない生活が続いていたこと

ウ：お母さんがいつもものをたいせつにしていたこと



問9 「なんてかわいそうな子でしょうね。一つだけちょうだいと言え、なんでももらえと思ってるのね。」とお母さんが言いましたが、なぜお母さんはゆみ子を「かわいそう」と思っているのですか。もっともたしいものを次の中からえらび○でかこみましょう。

ア：一つだけちょうだいと言っても、じゅうぶんな食べ物はないことをゆみ子がわかっていないから

イ：一つだけちょうだいと言え、なんでももらえと思うわがままな子になってしまったから

ウ：一つだけちょうだいという言葉覚えてしまうなんて、恥ずかしいことだから

エ：なんでももらえるようなくらしたと、ゆみ子がかんちがいをしているから

問10 「そんなとき、お父さんはきまってゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするのでした。」とかかかれています、この時のお父さんのきもちとしてたしいものを次の中からえらび○でかこみましょう。

ア：おじゃきなゆみ子にはらをたてている

イ：ゆみ子の口ぐせを、おもしろがっている

ウ：食べ物かわりにゆみ子をよろこばせようとしている



問 1 1 あまりじょうぶでないお父さんも、戦争に行くことになったのはなぜだと考えられますか。次の中からえらび○でかこみましょう。

ア：お母さんとゆみ子を守るため

イ：近所の人すすめたから

ウ：兵隊の数がたりなくなったから

エ：お母さんがのぞんだから

問 1 2 「駅に着くまでにみんな食べてしまいました」と書かれています。お母さんがゆみ子におにぎりをみんな食べさせてしまったのはなぜですか。「…から」と続くように、本文に書かれていることばをぬき出して27字でこたえましょう。

問 1 3 「小さくばんざいをしていたり、歌を歌っていたりしていました」と書かれています。お父さんがこのようにしたのはなぜですか。もっともたらしいものを次の中からえらび○でかこみましょう。

ア：戦争に行くことになって、ほこらしかったから

イ：ゆみ子とお母さんしか見送る人がいなかったの、はずかしかったから

ウ：ゆみ子が悲しまないように、すこしでも明るくふるまおうとしたから



問 1 4 小さくばんざいをしたり、歌を歌っていたりしていたお父さんのようすをたとえて書かれた一文を本文からぬき出してそのままこたえましょう。



「一つの花」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 一つだけちょうだい。

問2 まだ戦争のはげしかったころ

問3

- ・毎日、てきの飛行機が飛んできて、ばくだんを落としていった
- ・次々にやかれて、はいになっていった

※順番はどちらが先でも良い。

問4 イ

【解説】 「ゆみ子は、いつもおなかをすかしていたのでしょうか。」とかかかっていることから考えよう。

問5 ア

【解説】 このころは戦争のさい中なので、じゅうぶんな食べ物が手に入らなかった。それでも、少しでも娘のゆみ子に食べさせてあげたいとお母さんは思っている。



問6 (例) お母さんの口ぐせを覚えてしまったから

【解説】 「一つだけー。一つだけー。」と、これが、お母さんの口ぐせになってしまいました。ゆみ子は、知らず知らずのうちに、お母さんのこの口ぐせを覚えてしまったのです。」というところから考えよう。理由を聞かれている問題なので、「…から」とつながるように答えるようにしよう。

問7 一つだけー。

問8 イ

【解説】 お母さんが「一つだけー。」いわなければいけなかったのは、戦争のさい中なので、じゅうぶんな食べ物が手に入らないからということから考えよう。

問9 ア

【解説】 ゆみ子はまだ小さいので、今が戦争中で、じゅうぶんな食べ物が手に入らないということはわかっていない。お腹がすいて、食べ物が欲しくて一生懸命「一つだけちょうだい」と言っているゆみ子に、ほしがるままに食べ物をあげることができないのがかわいそうとお母さんは思っている。



問 | 0 ウ

【解説】ゆみ子がほしがる食べ物をじゅうぶんにあげることができないので、せめてゆみ子を楽しませて、少しの間だけでも食べ物のことを忘れられるようにしている。

問 | 1 ウ

【解説】本当なら、体の弱いお父さんは兵隊にならなくてもよかったはずなのに、戦争がひどくなってしまって、とうとう兵隊の数がたりなくなってしまったのでお父さんも戦争に行くことになってしまった。

問 | 2 戦争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかった（から）

問 | 3 ウ

問 | 4 まるで、戦争になんか行く人ではないかのように。

